

水防災意識社会再構築協議会(沖永良部島地域) 取組方針進捗管理表(令和7年度末時点)

施策番号	実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施済●・実施中▲・実施予定○				項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(R5.5.19) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度以降(予定等)	その他
					R5年度末	R6年度	R7年度	R8年度以降								
◆ハード対策の主な取組内容	避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備	河川情報を提供する危機管理型水位計等の検討・設置	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	①② ⑨⑩	<危機管理型水位計> ・協議会の場等を活用して、危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。協議会の場等を活用して、配置状況を確認。	危機管理型水位計及び簡易型カメラについて余多川は設置済み。 今後、石橋川、奥川についても設置を検討。	危機管理型水位計、簡易型カメラ、量水標等の設置について検討。	危機管理型水位計、簡易型カメラ、量水標等の設置について検討。	危機管理型水位計、簡易型カメラ、量水標等の設置について検討。	引き続き、危機管理型水位計、簡易型カメラ、量水標等の設置について検討。	
	施設の確実な機能確保	洪水時に適切な施設運用が出来るよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑬	-	河川管理施設の点検	河川管理施設の点検 出水期前点検は5月10日までに実施。 共通点検項目等を3月31日までに実施。	河川管理施設の点検 出水期前点検は5月10日までに実施。 共通点検項目等を3月31日までに実施。	河川管理施設の点検 出水期前点検は5月10日までに実施。 共通点検項目等を3月31日までに実施。	河川管理施設の点検 出水期前点検は5月10日までに実施予定。 共通点検項目等を3月31日までに実施予定。	
		河道内土砂の掘削、樹木伐採等の推進	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑭⑮	・河川の状況等を協議会で共有、優先区間を定めて順次実施。	県管理河川の寄洲除去、堤防伐採等	余多川、石橋川、奥川の寄洲除去、樹木伐採を実施。	余多川、石橋川、奥川の寄洲除去、樹木伐採を実施。	余多川、石橋川、奥川の寄洲除去、樹木伐採を実施。	余多川、石橋川、奥川の寄洲除去、樹木伐採を実施予定。	出水期及び出水後の点検状況を踏まえ、実施箇所を検討。

水防災意識社会再構築協議会(沖永良部島地域) 取組方針進捗管理表(令和7年度末時点)

実施番号	実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施済●・実施中▲、実施予定○				項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(R5.5.19) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度以降(予定等)	その他	
					R5年度末	R6年度	R7年度	R8年度以降										
円滑かつ迅速な避難のための取組	水害リスク等を踏まえたホットライン(出水時における河川管理者からの情報提供等)の運用(余多川)	引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	①②	・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認。	毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	4月25日までに連絡体制を確認	4月20日までに連絡体制を確認	4月2日までに連絡体制を確認	4月2日までに連絡体制を確認	4月末までに連絡体制を確認		
		引き続き実施		和泊町	●	●	●	○			毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	5月23日までに連絡体制を確認	5月19日に連絡体制を確認	6月21日に連絡体制を確認	6月9日に連絡体制を確認	年度初旬に連絡体制を確認		
		引き続き実施		知名町	●	●	●	○			毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	4月22日に連絡体制を確認	5月19日までに連絡体制を確認	連絡体制を確認	出水期前に連絡体制を確認	出水期前に連絡体制を確認		
防災情報の確実な伝達	避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及(未設置者への普及)	引き続き実施		和泊町	●	●	●	○	①	・水害リスク情報を踏まえて協議会の場等を活用して検討・調整を実施	防災無線の全世帯への設置	追加設置及び不具合の設備の取替、外付アンテナの設置等を実施	追加設置及び不具合の設備の取替、外付アンテナの設置等を実施	追加設置及び不具合の設備の取替、外付アンテナの設置等を実施	防災無線更新に伴い、全世帯の戸別受信機を順次更新予定(令和7年～令和8年)。	防災無線更新に伴い、全世帯の戸別受信機を順次更新予定(令和7年～令和8年)。	令和6年度令和7年2月現在14件設置、25件修理等	
		引き続き実施		知名町	●	●	●	○			防災無線の設置(全世帯設置済み)	転入者等に戸別端末を配布した	転入者等に戸別端末を配布	転入者等に戸別端末を配布	戸別受信機の整備、電波不感地帯の解消等を実施	戸別受信機の整備、電波不感地帯の解消等を実施予定		
	引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	①⑤	・水害リスク情報を踏まえて協議会の場等を活用して検討・調整を実施。	防災情報の内容拡充を検討し、適宜更新	防災情報の内容拡充を検討し、適宜更新	防災情報の内容拡充を検討し、適宜更新	防災情報の内容拡充を検討し、適宜更新	防災情報の内容拡充を検討し、適宜更新	防災情報の内容拡充を検討し、適宜更新	河川砂防情報システムで余多川の水位情報が閲覧可能		
	水防団による周知・広報	引き続き実施		和泊町	●	●	●	○	①	・協議会の場等を活用して、具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施。	定期的に予防消防活動を行っているので水防災についても広報活動を行う	消防団による周知・広報を実施	消防団による周知・広報を実施	消防団による周知・広報を実施	消防団による周知・広報を実施	消防団による周知・広報を実施	消防団による周知・広報	出水期や台風時に消防団員による、見回りを行っている。
引き続き実施			知名町	●	●	●	○	定期的に予防消防活動を行っているので水防災についても広報活動を行う			消防団幹部会で周知した	消防団幹部会で周知した	消防団幹部会で周知した	消防団幹部会で情報共有の上、周知・広報活動を実施	消防団幹部会で情報共有の上、周知・広報活動を実施予定			
◆ソフト対策の主な取組内容①	視覚的にわかりやすい情報発信	危機管理型水位計等によるきめ細やかな河川情報の提供	引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	②⑨	<危機管理型水位計> 【国・都道府県管理河川共通】 ・国において危機管理型水位観測規定等を作成。  【都道府県管理河川】 ・協議会の場等を活用して、危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。協議会の場等を活用して、配置状況を確認。  <河川監視用カメラ> 【国・都道府県管理河川共通】 ・国において河川監視用カメラ画像の確実な提供体制を確保するため、設置目的に応じた河川監視用カメラの開発に着手。  【都道府県管理河川】 ・協議会の場等を活用して、河川監視用カメラ配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。	危機管理型水位計等を設置し、水位の情報提供を行う	河川砂防情報システムで危機管理型水位計、簡易型カメラの情報提供を行った。	河川砂防情報システムで危機管理型水位計、簡易型カメラの情報提供を行った。	河川砂防情報システムで危機管理型水位計、簡易型カメラの情報提供を行った。	河川砂防情報システムで危機管理型水位計、簡易型カメラの情報提供を行った。	河川砂防情報システムで危機管理型水位計、簡易型カメラの情報提供を行った。	
浸水区域等のリスク情報の周知	地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難路の見直し検討	引き続き実施		和泊町	●	●	●	○	⑥⑮	・想定最大規模の洪水による浸水想定区域図が作成された場合は、市町村において速やかに当該浸水想定に基づく水害ハザードマップを作成・周知。  ・市町村において、水害ハザードマップの訓練等への活用について検討した上で実施	過去の浸水実績及び避難所、避難路の検討	実績なし(浸水範囲内には避難所はないことを確認)	実績なし(浸水範囲内には避難所はないことを確認)	実績なし(浸水範囲内には避難所はないことを確認)	実績なし(浸水範囲内には避難所はないことを確認)	引き続き実施	令和2年度総合ハザードマップを更新。	
		引き続き実施		知名町	●	●	●	○			過去の浸水実績及び避難所、避難路の検討	町民カレンダーの表紙にハザードマップと同じ内容が記載されたものを全世帯に配布した	町民カレンダーの表紙にハザードマップと同じ内容が記載されたものを全世帯に配布した	町民カレンダーの表紙にハザードマップと同じ内容が記載されたものを全世帯に配布した	ハザードマップを全世帯に配布	浸水想定区域図をもとに啓発を行う		
	河川浸水実績図等の提供・周知	引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	⑥⑩	・協議会の場等において各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町村において速やかに住民等に周知。	協議会の場等において保有する浸水実績等に関する情報を共有する	令和4年度新規浸水実績はなし	令和5年度新規浸水実績はなし	令和6年度新規浸水実績はなし(与論町で発生した浸水被害調査を実施し、調査結果を提供)	令和7年度新規浸水実績はなし	浸水実績があった場合は共有する		
	新たな水位周知河川の検討及び指定	引き続き実施		鹿児島県	●	●	●	○	⑥	・協議会の場等を活用し、今後5年間で指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について検討・調整を実施して、「地域の取組方針」にとりまとめ  ・市町村の役場等に係る河川の内、現在未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供(水害危険性の周知)	・水位周知河川の指定に向けた検討、候補河川の抽出。 ・浸水想定区域図作成に向けた検討	・水位周知河川の指定に向けた検討。 ・浸水想定区域図作成に向けた検討	・水位周知河川の指定に向けた検討。	・水位周知河川の指定に向けた検討。	・水位周知河川の指定に向けた検討。	・水位周知河川の指定に向けた検討。		
	想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域の検討・公表	令和7年度までに作成・公表		鹿児島県	●	●	●	-	⑥	水害リスク情報の空白地帯の解消を目指し、県管理河川において、想定最大規模の降雨による浸水想定区域図を令和7年度までに作成・公表予定	全ての県管理河川において作成し、HP等で公表	-	洪水浸水想定図作成の検討	洪水浸水想定図作成(奥川、石橋川、余多川)	洪水浸水想定図公表(R7.5)(奥川、石橋川、余多川)	-	R7.5に公表	
	要配慮者使用施設等避難訓練の促進	検討・実施		和泊町	-	-	-	○	⑤⑥	県が定める想定最大規模の浸水想定区域に基づき、浸水区域内における要配慮者施設等の避難訓練を検討・実施する。	避難訓練を検討・実施	-	-	対象施設なし	対象施設なし	新たに対象施設があれば周知していく。		
			知名町	-	-	-	-	⑤⑥	県が定める想定最大規模の浸水想定区域に基づき、浸水区域内における要配慮者施設等の避難訓練を検討・実施する。	避難訓練を検討・実施	-	-	-	浸水想定区域内に要配慮者施設等なし	浸水想定区域内に要配慮者施設等なし			

水防災意識社会再構築協議会(沖永良部島地域) 取組方針進捗管理表(令和7年度末時点)

実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施済●・実施中▲、実施予定○				項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(R5.5.19) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度以降(予定等)	その他	
				R5年度末	R6年度	R7年度	R8年度以降										
水防災を意識する社会の醸成のための支援	水防災意識社会再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	③④⑧	・協議会の場等を活用して、具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	広報内容を検討し実施	構成員と連携した啓発活動の内容について検討	構成員と連携した啓発活動の内容について検討	構成員と連携した啓発活動の内容について検討	構成員と連携した啓発活動の内容について検討	構成員と連携した啓発活動の内容について検討		
		引き続き実施	和泊町	●	-	-	○			・協議会の場等を活用して、具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	広報内容を検討し実施	既存の広報ツールを活用した広報を実施。また、次年度の広報手段、内容について、検討。	既存の広報ツールを活用した広報を実施。また、次年度の広報手段、内容について、検討。	既存の広報ツールを活用した広報を実施。また、次年度の広報手段、内容について、検討。	既存の広報ツールを活用した広報を実施。また、次年度の広報手段、内容について、検討。	既存の広報ツールを活用した広報の実施。また、次年度の広報手段、内容について、検討。	年度初めに区長会において周知
		引き続き実施	知名町	●	●	●	○			・協議会の場等を活用して、具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	広報内容を検討し実施	ハザードマップと同様のものが記載された町民カレンダーを作成し、全世帯に配布した	ハザードマップと同様のものが記載された町民カレンダーを作成し、全世帯に配布した	ハザードマップと同様のものが記載された町民カレンダーを作成し、全世帯に配布した	ハザードマップを全世帯に配布	広報内容を検討し、実施予定	
	教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	①②④⑧	・国の支援により作成した指導計画を、協議会の関連市町村における全ての学校に共有。 (防災に関する内容が強化された新学習指導要領に基づく授業が開始されることも念頭に実施)	・土砂災害の防災教育出前講座において、水防災についても啓発を行う ・水防災教育に関する指導計画や学習教材について、積極的な情報提供を行う	・水防災教育に関する情報提供の仕方について検討 ・教育庁と連携し、関係機関に周知。 ・上城小学校と下平川小学校で出前講座を実施。	・水防災教育に関する情報提供の仕方について検討 ・教育庁と連携し、関係機関に周知。 ・住吉小学校で出前講座を実施。	・水防災教育に関する情報提供の仕方について検討 ・教育庁と連携し、関係機関に周知。 ・住吉小学校で出前講座を実施。	・水防災教育に関する情報提供の仕方について検討 ・教育庁と連携し、関係機関に周知。 ・内城小学校、住吉小学校、茶花小学校で出前講座を実施。	・水防災教育に関する情報提供の仕方について検討 ・教育庁と連携し、関係機関に周知。 ・管内小学校で出前講座を実施予定。		
		引き続き実施	和泊町	●	●	●	○			学校関係者(教育委員会)との連携	学校関係者と連携した。	学校関係者と連携した。	学校関係者と連携した。	学校関係者と連携した。	学校関係者と連携する。		
		引き続き実施	知名町	-	-	-	-			学校関係者(教育委員会)との連携	未実施	未実施	未実施	未実施	実施予定なし		
		引き続き実施	鹿児島県地方気象台(名瀬測候所)	●	●	●	○			関係機関の取組に対して、気象資料の提供等により支援を実施する	和泊町立城ヶ丘中学校で大雨防災ワークショップを実施	関係機関の取組に対して、気象資料の提供等により支援や解説	和泊町和泊字地区住民に対して防災講話を実施	実績なし	引き続き関係機関の取組に対して支援を実施		
	地域住民が安全に避難出来るよう、マイハザードマップ・マイタイムライン検討・作成の支援	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑤	【国・都道府県管理河川共通】 ・協議会の場等を活用して、水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集して、適宜、「水害ハザードマップ作成の手引き」を充実し、市町村に提供。	周知及び訓練等への活用に関する資料を収集・提供する	周知及び訓練等への活用に関する資料を提供	周知及び訓練等への活用に関する資料を提供	周知及び訓練等への活用に関する資料を提供	周知及び訓練等への活用に関する資料を提供	周知及び訓練等への活用に関する資料を提供		
		引き続き実施	和泊町	●	●	●	○			・市町村において、水害ハザードマップの訓練等への活用について検討した上で実施。	ハザードマップの作成	和泊町防災マップの全戸配布(転入者含む)	和泊町防災マップの全戸配布(転入者含む)	和泊町防災マップの全戸配布(転入者含む)	和泊町防災マップの全戸配布(転入者含む)	和泊町防災マップの全戸配布(転入者含む)	
		引き続き実施	知名町	●	●	●	○			ハザードマップの作成	ハザードマップを全世帯に配布した	ハザードマップを全世帯に配布した	ハザードマップを全世帯に配布した	ハザードマップを全世帯に配布	実施に向けて内容を検討		
		引き続き実施	鹿児島県地方気象台(名瀬測候所)	●	●	●	○			ハザードマップやマイタイムラインの作成支援や周知啓発	要請を受けてハザードマップ作成支援 出前講座でマイタイムライン作成に参考となる防災気象情報の周知、解説等	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	和泊町・知名町防災担当者へ、令和8年度出水期より運用開始予定の新たな防災気象情報について説明を実施	引き続き出前講座等による防災気象情報の周知・解説等を実施	
	地域住民が安全に避難出来るよう、地区防災計画及び個別避難計画の推進・支援	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑥	・各市町村において、水害リスク情報を踏まえて避難場所及び避難経路を検討し、当該市町村内の避難場所だけで避難者を収容できない場合等においては、協議会の場等を活用して、隣接市町村等における避難場所の設定や洪水時の連絡体制等について検討・調整を実施。 ・また、必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、河川工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施。	市町ごとに、具体的な達成目標を設定し、遂行管理の徹底。	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施		
		引き続き実施	和泊町	●	●	●	○			区長会等での周知	年度初めに区長会において周知	年度初めに区長会において周知	年度初めに区長会において周知	年度初めに区長会において周知	年度初めに区長会において周知		
		引き続き実施	知名町	●	●	●	○			区長会等での周知	字区長、消防団に地区防災計画について説明を行った	字区長、消防団に地区防災計画について説明を行った	字区長、消防団に地区防災計画について説明を行った	字区長、消防団に地区防災計画について説明を行った	字区長、消防団に地区防災計画について説明実施予定	住吉地区で地区防災計画を作成済。	
	過去の災害に係る研修、講演会等の実施	今後実施	鹿児島県	●	●	●	○	③⑦	研修会、講習会を通し、水防災意識の醸成を図る。	研修会、講習会の実施	-	「鹿児島豪雨災害30年シンポジウム」開催(R5.7.20)	-	-	引き続き実施		
災害復旧実務研修の実施	今後実施	鹿児島県	●	●	●	○	③	研修を実施し、災害復旧への備えを行う。	研修の実施	-	「令和5年度災害担当者会議」開催(R5.5.11)	「令和6年度災害担当者会議」開催(R6.5.31)	「令和7年度災害担当者会議」開催(R7.5.27)	引き続き実施			
自主防災組織等への支援	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑦	・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	町の取り組み等を支援	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討		
		引き続き実施	和泊町	-	-	-	○			区長会視察研修の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、防災研修は実施せず。	参加が少なく、実施見送り	10月31日～11月2日で沖縄県で実施予定であったが、台風接近に伴い中止。	未実施	実施予定。研修会等詳細は未定。		
		引き続き実施	知名町	-	-	-	-			区長会視察研修の実施	名瀬測候所に依頼し津波に関する講演会を開催した	実績なし	実績なし	実績なし	実績予定なし		
	災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑧	・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	広報、町の活動等を支援	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討	広報の進め方について検討		
		引き続き実施	和泊町	-	-	-	○			区長会視察研修の実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、防災研修は実施せず。	参加が少なく、実施見送り	10月31日～11月2日で沖縄県で実施予定であったが、台風接近に伴い中止。	未実施	実施予定。研修会等詳細は未定。		
		引き続き実施	知名町	●	●	●	○			研修会の実施	名瀬測候所に依頼し津波に関する講演会を開催した	県が開催する地域防災リーダー養成講座に自主防災組織から派遣した	県が開催する地域防災リーダー養成講座に自主防災組織から派遣した	県が開催する地域防災リーダー養成講座に自主防災組織から派遣した	県が開催する地域防災リーダー養成講座に自主防災組織から派遣した	県地域防災リーダー養成講座の活用	

◆ソフト対策の主な取組内容②

水防災意識社会再構築協議会(沖永良部島地域) 取組方針進捗管理表(令和7年度末時点)

施策番号	実施内容	主な取組内容	目標時期	関係機関名	実施済●・実施中▲、実施予定○				項目番号 課題番号	「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画(R5.5.19) 今後の進め方及び数値目標等	具体的内容等	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度以降(予定等)	その他	
					R5年度末	R6年度	R7年度	R8年度以降										
◆ソフト対策の主な取組内容③	関係機関及び地域住民と実施する訓練等	防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施	引き続き実施	鹿児島県	●	●	●	○	⑫ ・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施 ・協議会の場等を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効果的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整	水防箇所や水防資機材等について関係者と共同して点検を実施する	水防箇所及び水防資材については、4月までに確認。水防資材について、情報共有を図る。	水防箇所及び水防資材については、4月までに確認。水防資材について、情報共有を図る。	水防箇所及び水防資材については、4月までに確認。水防資材について、情報共有を図る。	水防箇所及び水防資材については、4月までに確認。水防資材について、情報共有を図る。	引き続き、水防箇所及び水防資材については、4月までに確認予定。水防資材について、情報共有を図る予定。			
			引き続き実施	和泊町	●	●	●	○		県等実施の防災研修への出席及び訓練研修等の実施	各種研修会に参加した。	各種研修会に参加した。	各種研修会に参加した。	各種研修会に参加した。	各種研修会に参加した。	各種研修会へ参加		
			引き続き実施	知名町	●	●	●	○		県等実施の防災研修への出席及び訓練研修等の実施	名瀬測候所に依頼し津波に関する講演会を開催した	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施予定		
			引き続き実施	鹿児島地方気象台(名瀬測候所)	●	●	●	○		大雨や大きな台風接近による防災対応の測候所との振り返り	自治体職員防災ワークショップ実施。津波防災講演を実施。	台風第2号及び第6号や6月19日の線状降水帯による大雨への防災対応について、自治体と測候所とともに振り返り(和泊町、知名町)を実施	自治体と測候所で台風等の防災対応について振り返りを実施	自治体と名瀬測候所で台風等の防災対応について振り返りを実施(和泊町・知名町)	引き続き、台風等の防災対応について振り返りを実施			
	水防技術伝承のための水防団(消防団)員の防災訓練等の実施	引き続き実施	和泊町	●	●	●	○	⑮ ・多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、訓練内容の検討、調整をして実施	防災訓練の実施	9月9日「和泊町防災の日」総合防災訓練を実施	9月2日和泊町で知名町、警察署、消防署、自衛隊、消防団と合同で総合防災訓練を実施。	9月6日知名町で知名町、警察署、消防署、自衛隊、消防団と合同で総合防災訓練を実施。	8月29日和泊町で知名町、警察署、消防署、自衛隊、消防団と合同で総合防災訓練を実施。9月9日は総合防災訓練を実施。	9月初旬に和泊町で関係機関と訓練を実施予定。9月9日に相模防災訓練を実施予定。				
		引き続き実施	知名町	-	-	●	○		訓練は新型コロナの影響により未実施	未実施	未実施	救急救命及びAED利用訓練を実施	海水浴場等での訓練を実施予定					
	災害時に迅速な避難が出来るよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施	和泊町	-	●	●	○	⑯ ・対象の要配慮者利用施設(浸水)における避難確保計画の作成・避難訓練を実施を目指す。 ・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況については、毎年、協議会等の場において進捗状況を確認。	防災訓練の実施	9月9日「和泊町防災の日」総合防災訓練を実施	関係機関と訓練を実施したため、今年度は要配慮者等の訓練は未実施	9月6日知名町で知名町、警察署、消防署、自衛隊、消防団と合同で総合防災訓練を実施。	8月29日和泊町で知名町、警察署、消防署、自衛隊、消防団と合同で総合防災訓練を実施。9月9日は総合防災訓練を実施。	9月初旬に和泊町で関係機関と訓練を実施予定。9月9日に相模防災訓練を実施予定。				
		引き続き実施	知名町	●	●	●	○		余多川に近い住民の防災訓練の実施	津波に関する講演会を開催し、避難経路の確認や要配慮者等の避難について説明した	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	総合防災訓練を実施	引き続き実施				
	適切な水防活動への支援	適切な水防団(消防団)人員の確保	引き続き実施	和泊町	●	●	●	○	⑰ ・協議会の場等を活用して、水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施	消防団入団への勧誘	1年を通して分団長を中心に消防団入団への勧誘を実施。	1年を通して分団長を中心に消防団入団への勧誘を実施。	1年を通して分団長を中心に消防団入団への勧誘を実施。	1年を通して分団長を中心に消防団入団への勧誘を実施。	随時、消防団入団へ勧誘を実施	消防団員95名(定員120名)(令和7年2月現在)		
			引き続き実施	知名町	●	●	●	○		消防団入団への勧誘	団員確保のため町HPやポスターを掲示した	団員確保のため町HPやポスターを掲示した	団員確保のため町HPやポスターを掲示した	町HPやポスターにより周知・啓発	引き続き実施			